

外部ソースのリアルタイムデータを可視化



外部デバイスを接続

データを取得

映像上にデータを表示

VMSへデータ送信

自動化されたワークフロー

➤ CAMSTREAMER
データ連携

Data Integration どのように機能しますか？

入力

主な例:



バーコードリーダー (USB)



温度センサー (USB)



デジタルスケール (RS-232+IPコネクター)



マネーカウンター

処理



CamScripter アプリと CamOverlay アプリを搭載した Axis カメラ (外部IPデバイス対応)



CamScripter アプリに対応した Axis D3110 (外部USB/IPデバイス用)

出力



データ組み込みのビデオフィード



イベント/メタデータ/ブックマーク



画像および/またはビデオクリップのアップロード先



データ読み取りとインシデントログ



I/Oポート接続のアラート信号



CamScripter アプリを用いた連携ワークフローは、バーコードリーダー、温度センサー、デジタルスケール、マネーカウンターなどの各種入力デバイスから始まります。USB デバイスの接続と連携には AXIS D3110 Connectivity Hub が対応します。

これらのデバイスからのデータは、CamScripter App 上でマイクロアプリが動作する Axis カメラに取り込まれ、CamOverlay アプリがグラフィックオーバーレイの挿入を実行します。カメラ内の CamScripter アプリがデータを処理し、複数の出力を作成します。

ビデオフィード、イベント、メタデータ、ブックマークは VMS で管理されます。さらに、画像および/またはビデオクリップは選択したストレージにアップロードされ、データの読み取りとインシデントはログに記録されていきます。最後に、アラート信号は I/O ポートに接続されます。

この構成は、セキュリティ/物流/小売など、データの取得と処理の連携が求められる環境に特に適しており、温度センサー、バーコードリーダー、デジタルスケール等のデータをライブ配信上に表示するといった多様な用途に活用できます。各マイクロアプリは CamScripter アプリの UI に加えて、独自の設定用 UI を保有させることも可能です。



くわしくは
[CamStreamer.com](https://www.camstreamer.com) ^